

油彩画、版画など3作家19作品を初公開

# 新収蔵品展

## 西宮市大谷記念美術館 2017.2.25(sat) - 3.20(mon)

西宮市大谷記念美術館は、「新収蔵品展」を開催します。新たにコレクションに加わった、油彩画、版画など3作家の19点を初公開します。また、併催の館蔵品展では、フランスと日本の近代の油彩画を中心に約20点を展示します。

正延  
正俊



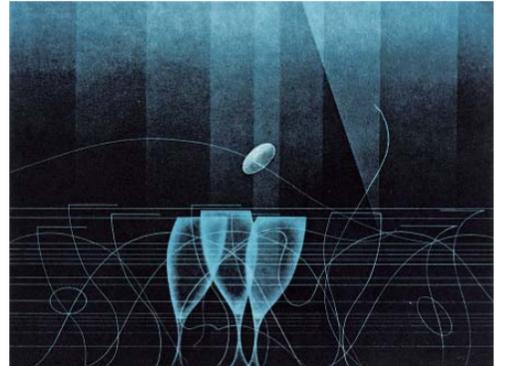
正延正俊《作品》1965年  
油彩、エナメル・綿布、板

松谷  
武判



松谷武判《繁殖15-1》2015年  
鉛筆、水彩・カンヴァス 撮影=キリコ

二見  
彰一



二見彰一《青のトリオ》1990年  
アクリル・紙

### 「西宮の狩野派 勝部如春斎」展 記念講演会

「近世大坂画壇の画家たちを眺望する」  
【日時】2月25日(土) 午後2時～  
【参加費】無料(別途要入館料)  
【定員】あり  
【申込・問合せ】文化振興課  
(0798・35・3477)

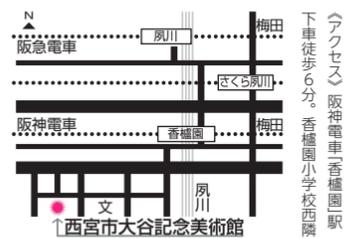
### 《関連イベント》 人形劇

3月5日(日)の午前11時、午後2時から。人形劇団「あ」による「おまつりのよる」を上演。対象は3歳以上。小学校入学前は保護者同伴で参加を。参加費無料(別途要入館料)。定員各80人。申込は2月14日午前9時から電話で同館。先着順

開館時間 | 10:00 - 17:00(入館は16:30まで) 休館日 | 水曜  
入館料 | 200円、高校、大学生、小・中学生100円  
● コロンカード・のびのびパスポート持参の小・中学生、65歳以上の市内在住者、心身に障害のある人および介助者1人は無料(いずれも要証明書)

西宮市大谷記念美術館 (0798・33・0164)

中浜町4-38 [HP] <http://otanimuseum.jp/home/>



### 学びたいこと見つかる

## 生涯学習大学 宮水学園祭

2月  
17日(金)  
18日(土)

生涯学習大学「宮水学園」の受講者が日頃の学習や活動の成果を発表する「宮水学園祭」を開催します=下表参照。入場無料。

作品展示	2/17(金)・18(土) 10:00~16:00 @市民会館 書、絵画、手芸、写真など
舞台発表	2/18(土) 12:00~16:00 @市民会館アミティホール 合唱、ダンス、マジックなど

問 生涯学習推進課 (0798・35・5165)

### 見て、体験して、次はあなたの番だ

## 文化的体験の成果を披露 宮水ジュニアまつり

3月  
5日(日)

子供たちがさまざまな文化的活動を体験できる講座「宮水ジュニア」。宮水ジュニア事業をより多くの人に知ってもらうため、「宮水ジュニアまつり」を開催します=下表参照。入場無料。

ステージ	13:30~15:30 @プレラホール オープニング F・Kバトンチーム 日本舞踊、能楽、長唄・三味線、マジック、ジャズダンス、こども落語
体験コーナー	13:30~15:00 @中央公民館 ※④は13:00~ ①絵てがみ、②パーチメント、③茶道、④将棋大会 講座の風景写真や作品展示のコーナーもあります

問 中央公民館 (0798・67・1567)



《体験コーナー》  
【対象】小・中学生(④は小学3年~中学3年)  
【参加費等】③のみ100円  
【定員】①30人、②40人、③70人、④32人  
(①~③は当日先着順。④は要申込)

《将棋大会の申込》  
住所、氏名(ふりがな)、学校名・学年、電話番号を書いたハガキ(消印有効)かEメールを2月16日までに中央公民館(〒663-8204 高松町4-8 vo\_chuukou@nishi.or.jp)へ。多数の場合抽選

### 地域で活躍する 皆さんを紹介 No.5

## 学校・家庭・地域をつなぐ 教育連携協議会

西宮の未来を担う

## 子供の成長を支える

●●● 教育連携協議会とは ●●●  
学校、家庭、地域住民が、子供を「共に育てる」という共通理解のもと、互いに協力を図りながら、家庭・地域と共に進む学校づくりを推進することを目的に全市立小・中学校に設置。課題を共有しながらその解決に向けて、登下校の見守り、学習支援活動、環境整備活動、学校行事や地域行事への積極的な参加など幅広い活動をしています。

●●● 平野 美恵子さんに聞きました ●●●  
神原小学校と大社中学校の教育連携協議会 委員長。長年地域に貢献し、教育連携協議会には発足当時から携わる。



### 《子供の成長が感じられる》

神原小学校と大社中学校の教育連携協議会では、子供たちが積極的に地域の行事に参加し、地域に親しんでもらえるよう、

学校に向き児童・生徒に声を掛けています。実際に対話することで、子供との信頼関係を築くことができます。中学生が高校生になった今でも地域のお手伝いをしてもらっていたり、餅つき大会当日に、女の子2人がお手伝いに来てくれたりと少しずつ成果が出てきています。

一度関わった子供たちとは今でも関係性が続いており、地域活動の中で子供の成長を感じることができて本当に嬉しいです。

### 《子供たちには将来、地域に戻ってきてほしい》

子供たちには、将来、育った地域で子育てするなど、大人になっても関わりを持ち続けてほしいですし、それがまち全体を元気にすると思います。そのためにも、地域に愛着を持ってもらうことが

大事です。これからも学校・保護者・地域の皆さんと協力して、地域の特性に合わせた交流活動を続けていきたいです。



### 文部科学大臣表彰を受賞

西宮市教育連携協議会は子供たちのために各学校・地域の状況について熟議を重ね、学校・家庭・地域で連携協力しながら活動してきました。これまでの活動が評価され、平成28年度「地域学校協働活動」の推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

問 社会教育課 (0798・35・3867)